

2018年度 高柳健次郎賞・高柳健次郎業績賞 決定

公益財団法人高柳健次郎財団(理事長末松安晴)は、電子科学技術及びその応用に関する独創性ある研究開発について表彰する「高柳健次郎賞」1件、「高柳健次郎業績賞」1件、「研究奨励賞」3件を決定した。各賞は、羽鳥光俊 氏(東京大学名誉教授)を委員長とする選考委員会で慎重な審査により選定されました。贈呈式は、2019年1月18日(金)、東京・千代田区の千代田放送会館にて開催いたします。

◆ 高柳健次郎賞 (表彰盾並びに記念のメダル贈呈)



吉野 武彦 博士 元日本放送協会 専務理事・技師長

業績内容

「ISDB(統合デジタル放送)の研究開発および実用化への貢献」

吉野氏は1966年に日本放送協会に入局し、1970年より総合技術研究所(当時)において放送に適用するデジタル伝送の基礎研究を行い、デジタル技術を用いた新しい放送システムの研究開発を進めてきた。1980年代には、映像・音声・データなど全てをデジタルデータとして一元的に扱うことで、様々なサービスを柔軟に提供することを可能にするISDB(統合デジタル放送)を提唱し、その後、指導的な立場で実用化を推進し、現在のデジタル放送の基礎を築いた。

衛星デジタル放送方式(ISDB-S)は、吉野氏が研究開発を指導していたハイビジョン信号の圧縮方式や高効率な伝送方式をベースに開発され、2000年に国内で放送が開始された。さらに地上デジタル放送方式(ISDB-T)は、固定受信のみならず移動体での携帯受信が可能な方式として開発され、2003年に国内で放送が開始された。現在、ISDB-Tは日本を含む世界19カ国で採用されている。

吉野氏が提唱し実現してきた技術は、これからも様々な分野に活用されるとともに、日本のみならず、世界の放送界に影響を与えながら発展していくであろう。

◆ 高柳健次郎業績賞 (表彰盾並びに副賞として賞金 50万円贈呈)



高村 誠之 博士 NTT メディアインテリジェンス研究所
主幹研究員(上席特別研究員)

業績内容 「映像圧縮符号化方式の先駆的研究と
その国際標準化および普及活動」

この件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 高柳健次郎財団

〒102-0082 東京都千代田区一番町4番地5 ニューライフ一番町 309 電話 03-3239-1207

ホームページ <https://takayanagi.or.jp> メールアドレス tkinez@oak.ocn.ne.jp